

追跡 レポート

6人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成22年6月定例会 ●一般質問

遠藤 智 議員 畑中 大子 議員

子宮頸がんワクチン 接種への助成を

子宮がんは若い女性を中心に増えています。女性の健康保持および健康増進をはかり、接種率を上げるためにも接種費用を助成すべきではないですか。

予防接種の充実をはかれ

細菌性髄膜炎やインフルエンザ菌b型ヒブワクチン、子宮頸がんの予防接種には多額の費用がかかるので、町民の健康保持の観点から助成すべきではないですか。

前向きに検討する

国の動向に留意しながら病期予防の観点からも助成について前向きに検討します。

子宮頸がん等ワクチン接種費助成を開始

<子宮頸がんワクチン>

対象者：中学1年生（13歳相当）～中学3年生（15歳相当）

<ヒブワクチン>（インフルエンザ菌b型）

対象者：0歳（生後2ヶ月）～4歳の乳幼児

<小児用肺炎球菌ワクチン>

対象者：0歳（生後2ヶ月）～4歳の乳幼児

※上記の予防接種は全て任意接種となっています。

【重要なお知らせ】

小児用肺炎球菌ワクチンおよびヒブワクチンを含む、ワクチン同時接種後の死亡例が報告され、福島県を通して国からの指示により対応していきます。